

保守が正しかった：教会は「絶対に」必要 ——新しい調査が明かす

新ギャラップ調査が、宗教は心の健康に不可欠であると証明

Jay Greenberg @NeonNettle

February 28, 2021



新しい調査が、教会出席が人々の心の健康に「不可欠」であることを示した

保守派が正しかったことが最終的に証明された。ある新しい調査が行われ、教会に出席することが、人々の心の健康を保つために「不可欠」であることが明らかになった。

昨年 3 月にロックダウンが始まって以来、信仰を持つ人々が宗教の自由を要求していた。

宗教は、新聞や出版物において、裁判所において、一般社会において、その扉が開かれることが「絶対に必要」だと主張して、闘ってきた。

心の健康が、過去一年の暴力騒ぎの間に、あらゆる面で損なわれてきた。

しかし、定期的に教会に出席する人々は、心理学的に苦しみから解放された唯一の集団であることを、新しい世論調査は明らかにした。

新しいギャラップ調査の自己査定の結果によると、アメリカ人の精神的健康は、過去 20 年間で、最低の状態を指していることがわかる。

<https://news.gallup.com/poll/327311/americans-mental-health-ratings-sink-new-low.aspx>
<https://thefederalist.com/2020/12/07/survey-finds-as-american-psyche-reaches-new-low-frequent-churchgoers-fare-better-than-the-rest/>

	2019	2020	Change
	%	%	pct. pts.
Gender			
Male	49	41	-8
Female	37	27	-10
Party identification			
Republican	56	41	-15
Independent	44	32	-11
Democrat	30	29	-1
Religious service attendance			
Weekly	42	46	+4
Nearly weekly/Monthly	47	35	-12
Seldom/Never	42	29	-13
Race			
White	45	35	-10
Non-White	40	32	-8
Marital status			
Married	49	41	-8
Not married	37	27	-10
Age group			
18-29	37	28	-9
30-49	40	32	-8
50-64	51	42	-9
65+	44	34	-10
Household income group			
Under \$40,000	33	27	-6
\$40,000-\$99,999	43	31	-12
\$100,000 or more	57	45	-12

GALLUP

この報告から、心の健康は、教会によく行く人々については、excellent (非常によい) が増加していることがわかる。

感情的あるいは心理的な「良い状態」を報告した人々の数値は、昨年1年だけで、全体的に9パーセント下がっていることを、「ザ・フェデラリスト」は示している。

心の健康の程度は、異なったグループによってさまざまだが、その質はすべての統計的分類を通じて低下している。すなわち、男、女、民主党、共和党、白人、非白人、富裕層、貧民層、既婚、独身に共通しているが、ただ、敬虔な宗教的な人々が例外となっている。

特記すべきは、信仰をもって教会通いをする人々だけが、昨年1年間に、心の健康が改善したことを報告していることである。

毎週、教会の行事に出席すると答えた人々だけが、2019年の42パーセントから、4ポイント増えて、心の健康を「非常によい」として、46パーセントの人々が報告している。

我々は教会を必要とする

宗教的な信念を持つ人々にとって、これは全く驚くべきことではない。

実際、それこそが、キリスト教徒たちが、教会を差別した非寛容な COVID-19 命令に、抵抗した理由の一つである。

教会は常に、信者にとって必要なものである。しかし、それはこの一年間の迫害を通じて、特別に厳しい批判を受け、暴力的な暴動、地球規模のパンデミック、それに批判の多い選挙などがあった。

多くの人々の苦しみは、2020年には、経済的・物理的・霊的に、加速度的に増加していく間、彼らは、福音書だけが与えることのできる希望を必要とした。しかし教会の扉が閉ざされているのと、しばしば発見した。

「我々の社会は崩壊しつつある。我々の価値と、この国家が築かれた土台——そのすべてを我々は失いつつある」と、 sacrament の Destiny Church 指導牧師 Greg Farrington は、8月、「ザ・フェデラリスト」に話した。

「人々は職を失いつつある。愛する者たちを失いつつある。そして彼らは追悼式を行うことができない。結婚式も行うことができない」と、ファリントン牧師は言った。

「教会は現在、あまりにも必要とされている——我々はその扉を開かなければならない。」

データはそれが真実であることを証明している。

もちろん一時的には、教会は、コロナウィルスの実情を知るにつれて、集会を停止せよという政府の命令に従ったのは正しかった。しかし、これ以上その必要はない。

孤立化と心の病気と自殺が増えていくにつれて、メッセージは明らかとなった：——我々は教会を必要としているのだ。

国家の自殺ホットラインは、1-800-273-8255。より詳しい情報は [ここ](#) をご覧ください。

<https://suicidepreventionlifeline.org/>



ニューヨーク市長 Bill de Blasio は、教会の儀式を弾圧し、Black Lives Matter（黒人人権運動）の抗議者たちには、フリーパスを与えている。

狭量な暴君たちが教会を憎んでいる

あたかも心の安泰についてのデータが、教会の行事の重要性を示すのに十分でないかのよう、権力に飢えた、反宗教的な役人たちは、パンデミックの安全ということについては本音を漏らし、現実には人々の安全を図ることより、教会からキリスト教徒を追い出すことに、はるかに苦勞していることを証明している。

ある民主党の知事は、州の権力を行使して、教会の出席者を監視させ、強制隔離命令を発令するための、彼らのライセンス・ナンバーを記録する、法的強制権を認可した。

BLM の集団抗議について、彼の認可を知らせる前に、ニューヨーク市長ビル・デブラジオは、宗教行事を行った教会を永久に閉鎖すると脅迫した。

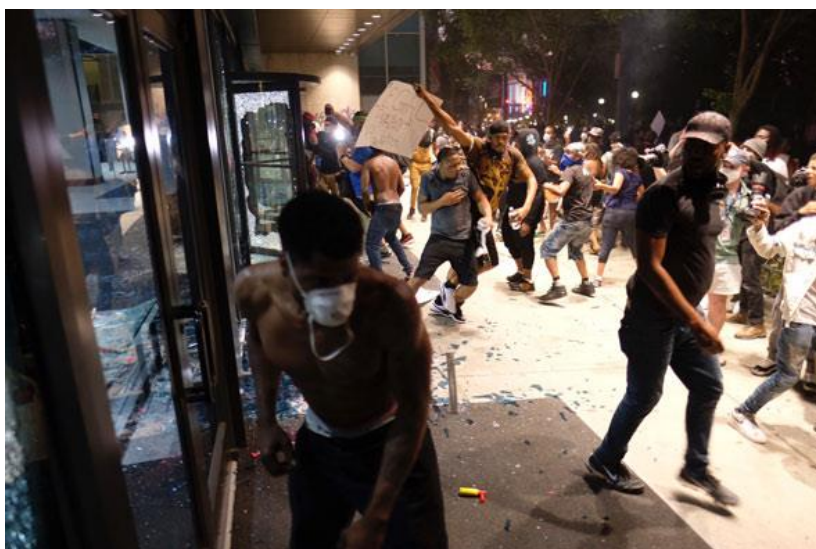
ロサンゼルス市は、Grace 教区牧師のジョン・マッカーサーに対し、もし教会が、礼拝のための屋内集会を行うのをやめなければ、1 日 1,000 ドルの科料、または牧師を逮捕すると脅迫した。

ネバダ州知事 Steve Sisolak の武漢ウイルス行政命令は、教会を差別する一方で、カジノのような卑俗な集会を支持した。

後者は半分の入場制限まで許可されたが、前者は、入場可能人数にかかわらず、50人に制限された。

ニューヨーク州知事アンドルー・クオモもまた、宗教的な集会に対し、法外な差別的制限を課した。

これらは、多くの同じような例の一部にすぎない。



2020年、暴力的な殺人がフリーパスを与えられ、教会はその扉を閉じるように強制された。

我々は誰を恐れるのか？

パンデミックが続いている間にも、アメリカ人は、自分の霊的な——そしてこの調査が言うように、精神と感情の——安泰を、おのれの身体の健康を維持するために、犠牲にしてもよいのかどうか、決定しなければならない。

人は故郷から離れ、人間同士の運動が起こり、そして自分の重要な仕事を果たすたびに、ある程度のリスクが伴う。そして教会も例外ではない。

我々は教会の建物の中でウィルスにかかるかもしれない。しかし我々はまた、食料品店に行く途中でそれにかかるかもしれない。

我々が、コストコよりも教会の方が怖いと言えば、我々のその確信について教会はどう言うだろうか？

我々が、神を恐れるより、はるかに病気を恐れると言え、我々の信仰について教会はどう言うか？

我々の魂と心の安泰が日ごとに衰退していき、我々の指導者たちが、我々の価値に対して、一貫した敵意を示すようになった今、我々は、教会のもつ利点が、そのコストにはるかに勝ることを認識しなければならない。

我々は正しかった：——教会は常に不可欠であり続けていた。

**[関連記事] カリフォルニア教会（複数）が、イエス・キリスト名において
ロックダウンを命令するニューサム州知事に、挑戦する**

[訳者 Greatchain による解説]

ここに、あまり報道されない、重要な、かつ恐るべき事実が、いくつか共有されている。NeonNettle ニュースが、これを異例の長期連続により掲載しているのは、重要視しているからであろう。

アメリカで最も迫害される宗教は、キリスト教だということは聞いていたが、これが特に昨年以降、エスカレートしていることが、ここらもわかる。それは教会の焼き討ち、破壊、信者への殺害を含む暴行である。これが単なる暴徒の仕業であるなら、まだしも理解できる。驚くべきは、それを煽り奨励する者たちがおり、それが、たいていは民主党の、州知事という権力者であることである。アメリカでは、ほとんどの権力者が、トランプを敵視する「泥沼」の住人であることがわかる。

もう一つ顕著なことは、一般的には衰退しつつあるアメリカの宗教的熱意が、熱心に教会通いをするような人々の間では、逆に増えているという事実である。これは現在、仮に少数であったとしても、彼らが種子となってアメリカに革命を起こすことは、ほぼ予見できる。彼らは、神への信仰は、もし彼らが油断をするなら、真逆の悪魔信仰となって世界を滅ぼすことを知っており、科学的に中立の神信仰などといったものは、ないことを知っている。彼らは迫害されるほど強く団結するはずである。これはわが国でも、全く同じことが起こるはずの、うごめく世界の構図である。

それにしても驚くべきは、ここに例証されている、神を信ずる者たちを食い物にしようとする民主党知事たちの、悪辣で汚い謀略である。彼らは「官製泥沼」の特権にあずかることによって営業する、「ぼったくりバー」のヤクザ店主のようなものである。